

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

11月下旬、大町温泉郷黒部ビューホテルで開催された、「いきいき21」の懇親会場は、オカリナ演奏と大合唱で大いに盛り上がった。「いきいき21」は、

長野県長寿社会開発センター大北支部が、平成21年度に開講した「長野県地域いきいき実践塾」を卒業後、メンバーが作った会だ。「オカリナ」は、粘土製や陶製の簡単な吹奏楽器。オカリナ演奏は、卒業後結成した「ポレポレ」。スワヒリ語で「ゆっくり」の意味で、のんびりと懇親を深めながら週一回の練習を続けた。練習終了後のお茶会での会話も楽しみの一つ。だからこそ、続けられているのだろう。卒業当時の演奏とは比較にならない充実した演奏。更けゆく秋の夜、旅の空の、で始まる「旅愁」

で会場の雰囲気が一変。札幌冬季オリンピックの虹の地平を歩み出て、始まる「虹と雪のパレード」からは、参加者全員が青春時代を彷彿させるような、大合唱で会場を心温かな雰囲気包み込む。最終曲の「ふるさと」で最高潮に。受講する事で知り合ったメンバー。そこから生まれたい生甲斐(いきがい)は、これからの人生に益々大切になって行くのだろう。

地域の中で求められる人材になる為にも、 あなたも長野県シニア大学で学んでみませんか

いきいき実践塾は24年度に廃止されたが、新年度から、再講の情報も聞こえてくる。社会参加して、地域の為に活動してみたいとの声を聞く機会が多くなってきている。それほど、身近に切実な、

講じている。長野県シニア大学は、シニア世代の多様な生き方、価値観、地域性を大事にしながら、自ら地域課題に気付き、学習を通して社会参加活動のきっかけをつかみ、卒業後、地域社会の一員

て、「シニア大学で学ぶほどの感でもない」と考えているのでは無く、地域の中で、求められる人材になるためにも、おおよね60歳以上から募集しているの

で是非興味ある方は、
(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)
入学をお勧めする。きっとこれからの人生を楽しいものにするはずだ。



一生懸命な演奏は、福祉現場にも届いてほしい心温まる響きだ